



沖繩市水道セミナー (第4回)活動報告書

令和5年12月13日開催

沖繩市上下水道局上下水道部総務課企画係

沖縄市水道モニター（第4回）活動報告書

【概要】

日付：令和5年12月13日（水）

時間：8：55～15：45

場所：東部海浜埋立地区橋梁箇所、古謝地内、胡屋配水池、漢那ダム

内容：現在沖縄市で行われている上水道工事について現場担当者より説明を受け、工事状況を確認する。また胡屋配水池および漢那ダムを視察する。

参加者：水道モニター（3名）、企画係（2人）

日程：8：55 集合 →9：20 出発 →9：40 東部海浜埋立地区橋梁視察 →10：25 古謝地区視察 → 11：00 胡屋配水池視察 →12：00 道の駅ぎのぞ（昼食） → 13：00 漢那ダム視察 →14：40 出発 →15：25 帰局・アンケート →15：45 解散

【報告内容】

令和4年度に委嘱を行なった水道モニターの活動について、令和5年度2度目の活動となった。第1回（R4.10.21）は委嘱状交付・利き水・水質検査体験、第2回（R5.2.28）は水道事業の説明、管理課業務の説明など、第3回（R5.10.11）は原水から水道水ができるまでの流れを学ぶため企業局施設見学を行なった。今回は、第4回（R5.12.13）で市内工事現場箇所・配水池・ダムの視察を行ない、水が家庭に届くまでの流れを確認できた。

当日は上下水道局に集合した後、公用車1台にて東部海浜埋立地区橋梁箇所に移動し、橋梁の内部に設置してある上水道管渠300mmと150mmの設置状況を確認した。その後は、古謝地区上水道管渠敷設箇所に移動し、給水引き込み状況や水道メーター周りについて学んだあと、胡屋配水池へ移動し貯水状況や施設内配管状況などを確認し午前を終えた。

午後からは、宜野座村の漢那ダムにて沖縄総合事務局の担当者よりダム施設内の説明を受けた後、ダム施設内を視察した。担当者よりお聞きした内容は、漢那ダムにおける年間維持費が約2億円で、そのうち6割が上水道料金にて賄われているとのことであった。漢那ダムは665万m³の貯水能力を有し、沖縄県は一日約40万m³利用するため、約16日分の水を漢那ダムで貯水できるとのことである。

水道モニターの今回の視察等における質疑応答やアンケート回答は以下にまとめる。

【水道モニター質疑応答内容】

（東部海浜埋立地区橋梁箇所での質疑応答）

質問①) 上水道管渠の耐用年数は？

回答①) 現在設置しているポリエチレン管は40年である。

質問②) 管渠接合の加熱は何で行なうのか？

回答②) わかりやすくいうとホットプレートのような機械で温めて接合している。

質問③) 管渠を橋梁に引き込むときは何で引っ張っているか？

回答③) ローラー上を転がしながら油圧機器で引っ張っている。

質問④) 下水道はどこにいれるのか？

回答④) 下水道管渠は橋梁外側に添架する。

(古謝地区上水道管渠敷設箇所での質疑応答)

質問①) 水道メーターが壁にある意味は？

回答①) 市町村によって異なるが、沖縄市では施主の意向で壁型・埋設型・露出型を決めている。

(漢那ダムでの質疑応答)

質問①) 沖縄県の今後のダム計画は？

回答①) 現時点で今後ダムを建設する計画は無い。維持管理がメインである。北部ダムを上手く運用することで、漢那ダム4つ分の水を有効利用している。

【モニターアンケート回答(抜粋)】

●今回の視察で良かった点は何ですか。

- ・一般の方が入れない場所を見ることができたこと、担当の方々に丁寧に説明いただけたことが良かったです。普段は気付けないことが分かり参考になりました。道の駅での休憩とても良かったです。
- ・ダムの景観、4つのダムが1つに集まっているなどの説明で計画的に建築されていると知った。
- ・貴重な経験をさせてもらいました。特にダムの仕組みは非常に勉強になりました。

●視察および見学で行きたいところはありますか。

- ・漢那ダムがとても良かったので他のダムも見学してみたい。
- ・東部海浜はこれから様々な点が整備されると考えられるのでいろんな角度から見学してみたい。
- ・温泉水について知りたいです。

●今後モニター会議で取り上げてほしいテーマはありますか？

- ・水道水の水質について
- ・水道のお金について
- ・沖縄市に1軒となった銭湯について知りたいです。聞いたところでは温泉とのこと。

【視察写真】



▲東部海浜埋立地区橋梁箇所



▲橋梁内部、管渠設置状況



▲古謝地区現場視察①



▲古謝地区現場視察②



▲胡屋配水池内部配管状況視察



▲漢那ダム担当者より説明